

# 容易に、しっかり、 スコープ3算定と効率的な削減推進

## Scope3排出量 算定・開示・削減検討 コンサルティング

詳しいご内容・お打ち合わせをご希望の場合は、  
下記までお問い合わせください。

お問い合わせ先：  
株式会社日本能率協会コンサルティング  
ビジネスイノベーション本部

お問い合わせフォーム：<https://www.jmac.co.jp/inquiry/reply/contact.html>  
お問い合わせ番号：03-4531-4307



お問い合わせフォーム

## このような課題はありませんか？

- 顧客からスコープ3算定を要請されている
- TCFD対応、投資家対応などでスコープ3開示が必須になってきている
- スコープ3の算定手順がわからない
- スコープ3を算定したが、今後どのように削減を進めたらよいかわからない
- 作業工数が限られているので、できるだけ簡単に効率的に算定したい
- スコープ3の対象外だが、環境貢献製品・サービスのCO<sub>2</sub>削減貢献量も算定したい



容易に、しっかり、  
スコープ3算定と効率的な削減推進！

## JMACの 特徴①

JMACは**20年以上のLCA関連コンサルティングの実績**を持ち、GHGプロトコルスコープ3基準が出る前からサプライチェーンのCO<sub>2</sub>算定に取り組んできました。その実績を踏まえて効果的・効率的なスコープ3排出量の算定をご支援しています。



算定において、どのカテゴリが対象となるか、活動量をどういう単位にするか、どこまで詳細に展開するか、CO<sub>2</sub>排出原単位に適したものが無い場合の対応はどうか、など**技術的な問題解決**はもちろん、**効率的な推進手順の提示**、**算定手順の文書化支援**なども行っております。また**市販されているスコープ1,2,3 ITツールの活用も対応可能**です。

グループ全体のスコープ3排出量が算定できたら、削減方策の検討を行います。対象とするカテゴリの特定、カテゴリごとの削減推進計画の策定です。これにはサプライヤー等の社外組織との連携も重要になります。**貴社とサプライヤーの関連状況などを踏まえて最適な進め方をご提示**します。

## JMACの 特徴②

更に、**スコープ3の対象外となる貴社の製品・サービスが世の中のCO<sub>2</sub>削減にどの程度貢献しているかの算定もご支援しています。**いわゆる**スコープ4排出量(削減貢献量)**です。



製品の素材変更によるCO<sub>2</sub>削減貢献や使用済製品のマッチング・リペアなどのリユースビジネスにおける削減貢献などの**様々な領域の効果定量化のご支援が可能です。**

## 対象 部門

全業種(あらゆる製品、サービス、事業)に対応可能

# コンサルティングの進め方

貴社のニーズを伺ったうえで具体的なコンサルティング内容を設計します。  
以下にスコープ3排出量算定・削減コンサルティングステップの一例を示します。

① スコープ1,2量の確認	1.算定済みのスコープ1,2データ及び算定方法を確認 2.必要な助言
② スコープ3量の算定	1.算定構想 各カテゴリの該当の有無の明確化、収集すべき主な活動量データの明確化、社内基幹システム内情報とそれ以外情報の明確化、効率的なカテゴリ算定の順序明確化 2.情報収集準備 データ収集の粗さの検討、最適な算定フォーマット提示エクセル版) 3.活動量情報収集 カテゴリごとに取り寄せた活動量情報の確認・必要な助言、情報収集に関する問題が発生した場合の適切な助言 4. CO <sub>2</sub> 算定 カテゴリ毎にCO <sub>2</sub> 排出原単位の当てはめ(必要に応じて原単位を作成し提供、各カテゴリごとCO <sub>2</sub> 算定
③ まとめ	1.排出量まとめ 各カテゴリのCO <sub>2</sub> 排出量まとめ、同業他社との比較考察 2. CO <sub>2</sub> 算定方法の文書化 各社ごと/カテゴリごとにCO <sub>2</sub> 算定の手順明確化
④ スコープ3目標・削減計画設定	1.対象カテゴリ設定 削減目標とすべき対象カテゴリの選定 2.目標方式の選定 総量削減目標/エンゲージメント目標の選定 3.目標レベル設定 目標基準設定 4.目標達成方策 目標達成のための大方策設定

## Case①

業界	物流
会社プロフィール	大手輸送業者を持つホールディング会社
テーマ	多種多様な業種を持つグループ会社のスコープ3排出量算定
背景	同社は主力事業の輸送事業者のスコープ3排出量算定は完了しており、次のステップとして国内関連業者15社のスコープ3排出量を算定し、他社に先行してグループ全体のCO <sub>2</sub> 排出量の開示と削減活動を推進したいとの思いがあった。効果的・効率的に推進をどのように行うか悩んでいた。
取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"><li>● 関連会社の業種ごとの算定の考え方・計算方法整理 (不動産販売・管理、倉庫管理、3PL、システム開発、スポーツ施設運営、保険業務、総務人事等シェアード機能請負業務、グローバル配送・通関業務、林業管理、車両販売、車両整備、フランチャイズによる物品販売等多岐にわたる)</li><li>● 各業種に適した算定カテゴリの設定、算定シナリオ設定</li><li>● 各社(15社)の効率的なスコープ3排出量算定(同業他社に先かけて情報開示)</li><li>● 各社の担当者が変わっても毎年算定が容易にできる手順の明文化とエクセルによる算定システム構築</li></ul>

## Case②

業界	土木等コンサルティング
会社プロフィール	カテゴリトップを持つプライム市場企業
テーマ	SBT認定に向けたグループスコープ3排出量算定と削減目標・計画策定
背景	同社は、気候変動をリスクだけでなく機会(ビジネスチャンス)ととらえた事業戦略を策定し、脱炭素経営として推進していた。そして脱炭素経営の一環としてSBT認定に取り組むことを社内決定。それに向けての最大課題であるグループ全体のスコープ3排出量の算定、更には算定結果を踏まえた削減目標・計画の策定に乗り出した。
取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"><li>● 海外を含むグループ会社5社のスコープ3排出量の算定を効率的に進め、短期で全体の算定を完了</li><li>● 各社の担当者が変わっても毎年算定が容易にできる手順の明文化とエクセルによる算定システム構築</li><li>● SBTi本部とのやり取りを通じて「野心的目標」のさじ加減を確認</li><li>● 排出量の大きなカテゴリや削減可能性の高いカテゴリの選定</li><li>● エンゲージメント目標と絶対量目標の抱き合わせでの目標を検討</li><li>● 削減ロードマップの策定</li></ul>

その他の実績: 化学、産業機械、土木建築、自動車部品、通信機器、印刷、物流、教育機関、娯楽・サービス など

## 面談

貴社課題について理解し、JMACのアプローチの説明、ご提案の方向性についてご相談します。  
必要に応じて、NDAをご準備します。  
現場視察により理解を深めさせていただく場合もございます。

## 提案

お打ち合わせ内容を踏まえて、貴社課題に添ったコンサルティング計画提案書をご提示させていただきます。

## 契約

JMACご提案を採用いただきましたら、業務委託契約書の締結準備をさせていただきます。

## 実施

コンサルティングを実施スタートいたします。  
キックオフを経て、

- 現状分析
- 関係者ミーティング
- 改善支援
- 推進報告会

を実施しながら課題解決に努めます。

お問い合わせ先：  
株式会社日本能率協会コンサルティング  
ビジネスイノベーション本部

お問い合わせフォーム：<https://www.jmac.co.jp/inquiry/reply/contact.html>  
お問い合わせ電話番号：03-4531-4307